

心のこもった挨拶を

矢野中学校に赴任して、早二年が過ぎ去ろうとしています。毎朝、自立坂を上る途中、素敵な生徒達と出会います。私の車を待っていたかのように「おはようございます」とさわやかな挨拶をかけてくれます。しかも、車の方向に身構え、その場に立ち止まり、笑顔で頭を下げしてくれる。こんな光景を、たくさんの場面で、多くの生徒が見せてくれるようになりました。今日も頑張るぞ、そんな気持ちにさせてくれます。

さて、これが学校の至る所で、全ての生徒ができるとしたら、どうでしょう？ 素敵だと思いませんか。気持ちの良い挨拶は、人の心を温かく幸せにしてくれます。

3年生の卒業を心から祝福します

卒業までの日数がまもなくカウントダウンに入ります。3年生にとっては、義務教育の終了が目前に迫ってきました。

この9年間、自分の努力はもちろんですが、家族の人や友達、地域の方や先生方などに、支えられて成長してきたことも事実です。いろいろなことがあったことなのでしょうが、この節目にあたり、「感謝の気持ち」を持って矢野中学校を巣立って欲しいと思います。教職員一同、皆さんの『卒業』を祝福します。



卒業するにあたって、三つの勇気を持って欲しいと思います。

一つ目は、「挑戦する勇気」です。

中学校を卒業するにあたって、これからは、それぞれが選んだ道を、自分で切り開く事になります。自分は、この道を進むんだと決めたら、一度や二度の困難にくじけず、挑戦し続けて欲しいと思います。

二つ目は、「とどまる勇気」です。

ひとつの事を成し遂げるには、猪突猛進でがむしゃらな勇気だけではいけません。時には、第三者的に、自分の生き方を見つめ、振り返る事も大切です。自分は今、何を優先すべきなのか、何をあきらめなければいけないのか、それを考えられる人になって欲しいと思います。正しく生きるには、とどまる勇気が必要です。

三つ目は、「守る勇気」です。

これからは、みんなで力を合わせ、周りの人を大切にしながら、自分の幸せを求める時期を迎えます。私たちが争いなく、それぞれの幸せを勝ち取るには、社会のルールやマナーを守る勇気が必要です。

長い人生には、いろいろな事があると思いますが、中学校で培った「人を思いやる心」「我慢する心」を大切にし、もし困難に出会ったら、この「三つの勇気」を思い出して、力強く生き抜いてください。

生きるとは、進む事です。進むとは、私たち人間がそれぞれの幸せを求めて努力する事です。卒業生に幸あれ。

